

I 定例役員・幹事会開催

令和2年2月15日（土）（15:05～17:20）大阪市・中之島センタービル15F会議室「光」にて、開催されました。

出席者:新役員・幹事11名全員（敬称略・*委任状にての2名含む）
役員 青嶋(会長)・西村(会長補佐)・井内(会計)・松永(会計監査)
幹事 *松尾・阪本・豊田・兵藤・宮崎・*岡本・竹崎

【議題1】

- ・会計報告
- ・役員、幹事の役割分担について
- ・広報活動報告・・・関西慶應寮和会新聞（27～28号）
寮和会報寄稿（上期、下期）

【議題2】令和2年度活動計画について

これまでの参加実績、見学希望場所（過去アンケート結果による）等をもとに、魅力ある企画となるよう意見交換を行った。

昨今の社会情勢（新型コロナウイルス）や、企画地の地域バランス等の議論も経た結果、次の案で検討・調整することとした。

<検討案>

- ・春期 第17回定例懇談会
日時：5月30日（土）
企画：「離宮をめぐる」
皇室と縁深い修学院離宮を見学
→塾員経営の松井酒造(株)にて試飲体験
- ・秋期 第18回定例懇談会
日時：11月7日（土）または11月14日（土）
企画：「電力の安定供給を学ぶ旅」
神戸市内への電力供給の根幹である給電制御所と三宮変電所を見学し、その後神戸らんぷミュージアムを見学



写真 I -1. 修学院離宮



写真 I -2. 神戸らんぷミュージアム

【その他】

青嶋新会長より、今後の関西慶應寮和会運営について、次の方針が示された。

1. 魅力ある企画を立案する
2. 幅広い年次（特に若い寮生）の参加を促す
3. 新聞などにより寮和会の活動内容、存在意義を発信する

これらの実現に向けて、会員への連絡のあり方、会員名簿の管理方法、若手会員の勧誘、企画への家族参加等について、意見交換を行った。

今回定例役員・幹事会より、青嶋会長はじめ新体制での活動が始まりました。一致協力して、定例懇談会をより楽しい企画にしていきますので、ふるってご参加下されば幸いです。

II サモア・アイランダーズOB会

かつて寄宿舍有志で活動されていたハワイアンバンドのサモア・アイランダーズ。神戸で開かれた初めてのOB会について、メンバーの宮純一さん（S46）から寄稿をいただきました。

初めてのサモア・アイランダーズOB会が、令和元年10月7日と11月25日の2回に亘り神戸で開かれました。

きっかけは平成27年と28年に行われた帯広寮和会です。そこで再会したサモアOB同士で「一度皆で集まろう」という話になり、それが実現の運びとなったものです。ただ、参加者全員がどうしても同日に揃うことが出来なかったため、やむなく2回に分かれることになりました。人数が分散する心配もありましたが、会合には関西在住を初め、東京や名古屋、北海道からもOBが駆けつけ、更に関西寮和会のメンバーも加わって、重複参加者を含め両日共に8名、延べ16名を数える盛会となりました。

会の構成は両日共に、第一部/会食、第二部/ハワイアン・ライブです。

当日夕方元町駅に集合し、近くの焼肉店「帝」で第一部はをスタート。神戸牛のロースやカルビ、シーフードなどに舌鼓を打ちながら、日吉寮やサモアの思い出話を花を咲かせました。



後列左から 中矢S47、松尾S47、宮S46
前列左から 鈴木S46、御園S44、井汲S45、角田S44
(敬称略) 赤字は関西以外から来られた方々

写真Ⅱ-1.会食では思い出話に花が



写真Ⅱ-2.ライブでの変わらぬ腕前

特に、10月会合に東京から参加の角田（道）さんとは、ほぼ全員が卒業以来約50年振りの再会とあって、懐かしさも一入でした。また、11月会合では小田さんと山本（盛）さんのお二人が帯広から参加、遠来のOBを迎えて大いに盛り上げました。さらに、所用で来阪中の仲野さんご夫妻には、ご多忙中をやりくりして会食終盤の短い時間ながら、出席していただきました。

第二部は神戸三宮駅近くのライブハウス「アプロウズ」でのハワイアン・ライブです。ここは、関西のハワイアン・ファンなら知らない人はいないという店で、オーナーは、「大橋節夫とハニーアイランダーズ」の元メンバーだった河田さんという人です。そして、このバンドこそ、サモア・アイランダーズのみならず当時多くの学生バンドが親しみ、敬愛し、憧れた、その対象だったのです。

ライブ演奏はザ・マリンサウンズというバンドで、大橋節夫の曲を中心に、その演奏スタイル再現目指して活動しているのですが、実はサモアOBの二人（井汲さんと筆者）がメンバーに入っています。演奏は「南国の夜」や「珊瑚礁の彼方」など懐かしの曲から、「赤いレイ」や「なぎさ」など大橋節夫オリジナル曲、そして「熱風」や「キャラバン」などのジャズ、更に河田さんの唄で「グッバイホノルル」に至るまで全22曲でした。

サモアOBも寮和会メンバーも、懐かしい曲を聴きながら寮生活の思い出を重ね合わせたりして、楽しんでもらえたのではないかと思います。そして、ライブの最後に全員で「倅せはここに」や「若き血」を歌ってお開きとなりました。今回OB会の後、メンバーの心に一つの夢が生まれました。それは、『いつか日吉寮の中庭で、サモア・アイランダーズの芝上ライブが出来たら・・・』というものです。

Ⅲ 編集後記

このたび、松永さんより広報室長を引き継ぎ、本紙発行も担当することになりました竹崎（H2）です。本会の活動内容、存在意義の発信という、重要な役割を果たせるようしっかりやってまいりますので、みなさまよろしくお願ひします。

以上



奥から 中矢 S47、山本（盛） S45、小田 S44
相本 S41、酒井 S42、松尾 S47
(敬称略) 赤字は関西以外から来られた方々

写真Ⅱ-3.旧交を温めながらハワイアンを堪能



写真Ⅱ-4.ご出席の皆さんで記念の一枚